

令和2年度 時津図書館司書の

夏

オヌヌメ本

表示価格は本体価格(税別)です

『信長もビックリ!?科学でツッコむ日本の歴史 だから教科書にのらなかった』 [歴史]
平林 純/著 集英社 (¥1000)



真剣白刃取り、本当は出来ないってどうということ!? 江戸幕府の歴代将軍はみんな猫舌!? 教科書には載らないような歴史の「え、そうなの!」を、分かりやすい文章とイラストで解説。

『ふるさとって呼んでもいいですか 6歳で「移民」になった私の物語』 [民族]
ナディ/著 大月書店 (¥1600)



両親の「出稼ぎ」により6歳でイランから日本にやってきたナディ。慣れない日本での生活や外国人あつかいされることへの葛藤など、異文化の中で生活する彼女の奮闘と成長の記録。

『朔と新』 [日本文学]
いとう みく/著 講談社 (¥1500)



事故で視力を失った朔。その責任は自分にあると思い、将来を嘱望されていた陸上をやめた弟の新。ある日、朔は新にブラインドマラソンの伴走者になって欲しいと告げる。ちぐはぐだった二人をつなぐのは、一本のロープ。

『54字の物語 意味がわかるとソクソクする超短編小説』 [日本文学]
氏田 雄介/作 佐藤 おどり/絵 PHP研究所 (¥1000)



たった54文字、されど54文字! 原稿用紙1枚どころか、ツイッターの文字数制限140字にも満たない短い物語で、読み手を「なるほど」とうならせる。読んだ後はあなたも書いてみたくなるかも。

『#8月31日の夜に。 生きるのがつらい10代のあなたへ』 [生き方]
NHK「ハートネットTV」/編 毎日新聞出版 (¥1200)



新学期を迎えるのがつらい、なんだかゆううつ、やりたいことがわからない、生きるってなに? そんな気持ちを抱え不安になっているあなたへ、現役10代とかつての10代からのメッセージ。大丈夫、あなたはひとりじゃない。

『東大卒の教師が教えるこどもの科学の疑問に答える本』 [科学]
三澤 信也/著 彩図社 (¥1200)



関節がポキポキと鳴る理由、あなたは考えたことがありますか? 疑問に思ってもあまり調べようとしない人にこそ読んでほしい、身近な「どうして?」を「そうなんだ!」に変える本。

『てのひらに未来』 [日本文学]
工藤 純子/作 酒井 以/画 くもん出版 (¥1400)



中学生の琴葉は、父が営む工場で働く天馬と接する時間の中で、「平和とは何か」「家族とは何か」を考えはじめる。あたりまえにくると思っていた平和な未来はあたりまえじゃないような気がして…。

『夏に泳ぐ緑のクジラ』 [日本文学]
村上 しいこ/作 小学館 (¥1400)



中三の夏、両親の別れにより祖母が住む島に捨てられにきたお京。そんな島でお京は謎の生き物「つちんこ」と出会う。つちんこは島の友達にも見えるようで…。少女たちのひと夏の成長物語。

『グレタと立ち上ろう 気候変動の世界を救うための18章』 [環境]
ヴァレンティナ・ジャンネッラ/著 マヌエラ・マラッツィ/イラスト 川野 太郎/訳 岩崎書店 (¥1800)



温暖化、大気や水質汚染、ごみ問題など、生き物の生命を脅かす環境問題。気候変動を理解するための基礎的な考え方を科学に基づいて解説する。かけがえのない地球を守り、未来のために今できることを考えよう。

『しくじりから学ぶ 13歳からのスマホルール』 [通信]
島袋 コウ/著 旬報社 (¥1400)



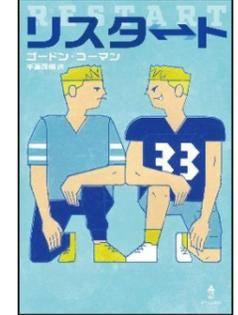
無断転載、ひぼう中傷、フェイクニュース、ネットリンチ…明日炎上するのは自分かもしれない。自分の身を守るためには、正しい知識が必要不可欠。その何気ない投稿、世界中の人が見えていますよ。

『ずっと見つめていた』 [日本文学]
森島 いずみ/作 しらこ/絵 偕成社 (¥1300)



妹のつぐみの「化学物質過敏症」によって住んでいた浦和から、家族で田舎へ引っ越した越。通う中学校は? 塾は? 自分の将来は? 田舎暮らしに不安でいっぱいだった越が…。

『リスタート』 [外国文学]
ゴードン・コーマン/著 千葉 茂樹/訳 あすなろ書房 (¥1600)



2階から落ちて、記憶喪失になった13歳のチェース。自分の名前も家族や友達のこと何も覚えていない。新しい人生をリスタートするが、以前はアメフトのスター選手で、弱いものいじめをする相当な悪だったみたい。